MITSUBISHI ELECTRIC

2311876H95501

〔ミニキッチン・居間・事務所・店舗用〕

三菱ダクト用換気扇

局所タイプ

形名	VD-13ZY14

24時間換気機能付　DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ

形名	VD-13ZVY7

取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

お客様

この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けないでください。
（安全や機能の確保ができません）

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。

販売店・工事店様

本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- ■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- ■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- ■この製品は、ミニキッチン（台所）・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- ■形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照してください。
- ■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- ■電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- ■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	浴室での使用禁止	接触禁止	感電注意	指示に従う

⚠警告

禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	指示に従う	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。	指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。	感電注意	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
指示に従う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。		
指示に従う	●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。		

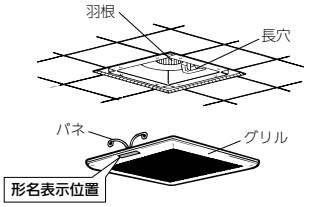
⚠注意

禁止	●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。	接触禁止	●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
禁止	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。	指示に従う	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
禁止	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。	指示に従う	●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には据付けない。また、使用しない 感電・故障の原因。	指示に従う	●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
		指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
		指示に従う	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
		指示に従う	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 特　長（VD-13ZVY7）

- 定風量タイプは換気風量を適正に保つために「弱」運転には風量を自動制御する機能を備えています。
- 24時間換気機能付タイプは換気風量（強・弱）の切り替えが可能であり、「弱」運転で24時間換気を行うことで、給気口から新鮮な空気を取入れ室内空気環境を改善します。

3. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。
（製品の変形や早期故障の原因となります）
- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。
（グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合がありますのでご注意ください。

4. 使用方法

⚠注意

- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 運転開始と停止は壁のスイッチで行います。
- VD-13ZVY7は壁のスイッチで風量の「強」・「弱」を切り替えることができます。

お願い
- 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）
- IHクッキングヒーター（電気コンロ）などを設置したミニキッチン・台所に据付けた場合、蒸気が大量に発生する調理をされますと、換気扇本体に結露（水滴）が生じ滴下するおそれがあります。その際は「鍋などに蓋をする」、「早めに加熱量を調整する」など水蒸気量が少なくなるようにしていただくか、滴下する前にグリルと本体内部を乾いた布などで拭き取ってご使用ください。
（IHクッキングヒーターはガスコンロに比べ熱効率が高く、調理時に換気扇の周辺温度が上がりにくいため、特に冬期の温度が低い場合に結露（水滴）が生じる場合があります）

〈お知らせ〉
- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
- スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- 電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。
※運転が安定するまでに数十秒かかります。

定風量換気（「弱」運転の場合）

- 定風量換気運転中は運転音が変化する場合がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。
- 外風がある場合やレンジフードファンなどの運転時は適正な換気風量を確保するために羽根の回転数が上昇して運転音が大きくなりますが異常ではありません。

「強」運転の上手な使いかた

- 水蒸気や油煙などを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。

5. お手入れのしかた

3か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。
※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。
グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。

⚠警告

- **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
  感電・けがの原因。

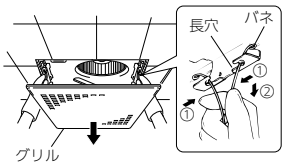
⚠注意

- **お手入れの際は手袋を着用する**
  着用しないとけがの原因。

お願い
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
  （台所用中性洗剤をご使用ください。）
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
  （異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因となります）
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。

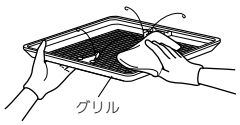
1 グリルをはずす

- グリルを両手で少し下げ、バネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- バネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。



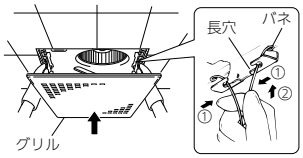
2 汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 油煙の発生する場所でご使用されている場合、別売のグリスフィルターがグリルに据付けられています。
- グリスフィルターは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸し、タワシなどで表面を軽くこすって汚れを落とし、きれいな水ですすぎ洗いをして乾かしてください。（金属タワシなどは使用しないでください）
- グリスフィルターの据付け・取りはずしは、「グリスフィルターの据付け・取りはずし」を参照してください。



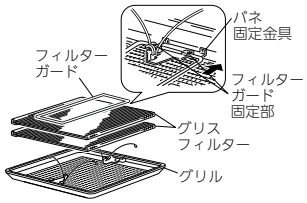
3 グリルを据付ける

- バネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。



グリスフィルターの据付け・取りはずし

- グリスフィルターをお手入れの際は以下の手順で据付け・取りはずしを行ってください。
  （1）右図のようにグリスフィルターを2枚合わせて両側のバネ固定金具とグリルの間に差し込みます。
  （2）フィルターガードを両側のバネ固定金具のフィルターガード固定部に引掛けてグリスフィルターを押さえてください。
  グリスフィルターはグリルの開口部を全て覆うように据付けてください。
  （3）取りはずしは据付けと逆の手順で行ってください。
- グリスフィルターを新しいものに交換される場合は、別売のシステム部材「P-13GFZ-M」をお求めの上、据付けてください。



6. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- **この換気扇は風圧式シャッターを設けています。急激なドアの開閉や外風が強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。**
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。

<定風量タイプ>
- スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」、「弱」運転切替えでランプの点灯が薄くなったり、ちらついたりすることがあります。
- スイッチを入れて、2秒後程度で運転し始めます。
- 羽根の動き始めは、モーター音が聞こえる場合があります。
- 換気風量を適正に確保するための自動運転制御により定風量換気運転中は運転音が変化する場合があります。

当社ホームページの「**よくあるご質問FAQ**」もご確認ください。
（https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270）

このような症状があれば点検してください。

●スイッチを「入」にしても換気扇が運転しない。	●ブレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？ ●羽根が回転しているか確認してください。運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。	点検・処置をしても直らない場合
●換気されない、換気量が不足する。 ●運転中に異音がする。	●羽根に異物が付着していませんか？ ●給気不足ではありませんか？（給気ガラリ、給気口は開いていますか？）	
●グリルから室内に風が吹き返す。 ●運転中に振動がする。	●屋外フードにほこりが堆積していませんか？ ●グリルや本体が確実に据付けられていますか？	
●グリルがはずれかけている。または傾いている。	●本体に確実に据付けてください。	

必ず電源を切ってから、お買上げの販売店・工事店に点検・修理を依頼してください。
費用については販売店・工事店にご相談ください。

7. アフターサービス

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　ダクト用換気扇
2. 形　　名　VD-○○○○
3. お買上げ日　○年　○月　○日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご　住　所　（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル **0120-726-471**（無料）
携帯電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659（有料）

■ご相談対応
平日（土・日・祝及び弊社休日以外）
9：00～12：00
13：00～17：00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp/support/**
こちらから簡単にアクセスできます。
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

携帯電話の場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634**（有料）
ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S22A-KANKI-＊

8. 仕　様

局所換気タイプ　定格電圧 100V

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-13ZY14	23.5	27	160	170	38.5	39	2.8

24時間換気機能付　DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ　定格電圧100V、定格周波数 50-60Hz

形名	設定	消費電力(W)	開放風量(m³/h)	有効換気量(m³/h)		騒音(dB)	質量(kg)
				パイプ長さ 20m 時	パイプ長さ 30m 時		
VD-13ZVY7	強	4.7	120	120	120	33	2.6
	24時間換気(弱)	2.1	75	75	75	25	

※特性は JIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実取付状態では反響音等を含むためこれよりも高くなります。
※加圧を配管相当長としてみなし、ダクトや屋外フードの圧力損失を考慮して20m、30m時の換気量を「有効換気量」と称しています。
〈戸建住宅は20m、集合住宅は30mを想定〉

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた石の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　JIS C 9921-2

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1 年間の使用時間	換気時間 a) 台所　2410 時間 / 年 居室　2193 時間 / 年 トイレ　2614 時間 / 年 浴室　1671 時間 / 年	

注 a) 24 時間換気のものは、8760 時間 / 年とする。

愛情点検　**☆長年ご使用の換気扇の点検を！**

ご使用の際このようなことはありませんか。		使用中止
	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食、破損などがある。	故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ		
サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

据付説明書

1.据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」（表面）、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2.据付け前のお願い

⚠注意

- **中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない**
  本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

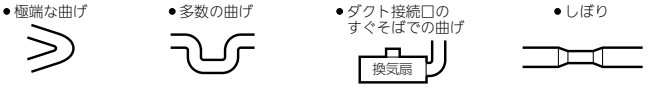
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 台所用としてご使用の場合、火災予防条例などの法規制があります。
  詳しくは、三菱換気送風機総合カタログをご確認ください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。
  シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 油煙の発生する場所に据付ける場合は、必ず別売のグリスフィルターをグリルに据付けてください。

据付位置

- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150㎜以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井･ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。

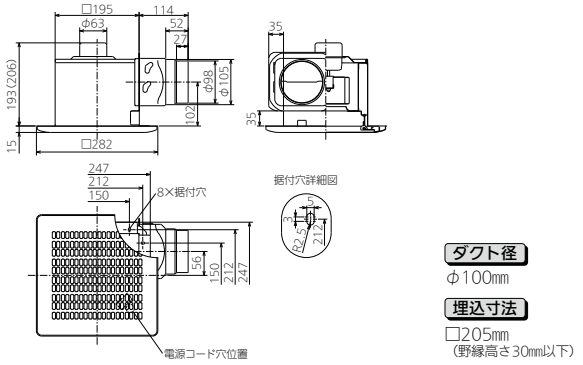


- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。
  天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

3.外形寸法図 単位（㎜）

【付属部品】木ネジ……5本

■VD-13ZY14　■VD-13ZVY7 ※( )内寸法はVD-13ZVY7



ダクト径
φ100㎜

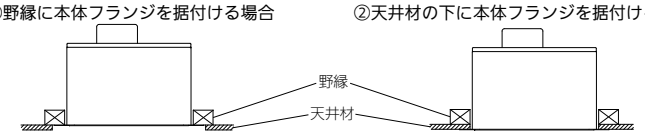
埋込寸法
□205㎜
（野縁高さ30㎜以下）

4.据付方法

※野縁に強度がないなどで天吊金具を使用される場合は後述の“天吊金具を使用する場合”をご覧ください。

※据付方法には①野縁に本体フランジを据付ける方法、②天井材の下に本体フランジを据付ける方法があります。使用環境に合わせて据付けてください。

①野縁に本体フランジを据付ける場合　　②天井材の下に本体フランジを据付ける場合

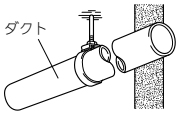


以下、①野縁に本体フランジを据付ける方法を例として記載しています。②天井材の下に本体フランジを据付ける方法については、野縁組立後に天井材を張り同様の手順で据付けてください。

1 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。（力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります）
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。（結露により天井材を汚損する原因となります）

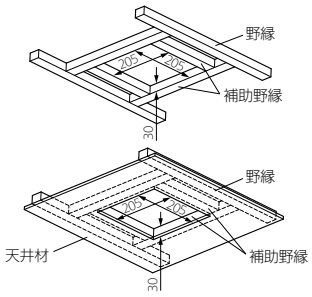


2 野縁組立

①野縁に本体フランジを据付ける場合
内寸が205㎜、高さが30㎜以下になるよう補助野縁4本を使用して据付枠を組む。

②天井材の下に本体フランジを据付ける場合
野縁の内寸が205㎜、野縁高さ+天井材厚さが30㎜以下になるよう、最低2本の補助野縁を使用して据付枠を組む。

（野縁高さ（＋天井材厚さ）が30㎜より大きい場合据付けできません）



単位(㎜)

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。
  野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合の原因となります。

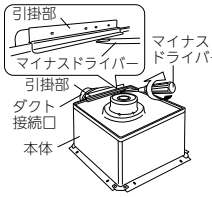
3 ダクト接続

1 ダクト接続口の取りはずし

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。

お願い

- ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。



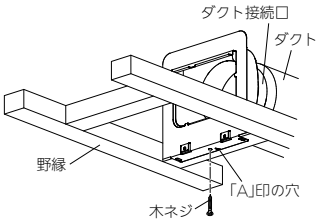
2 ダクト接続口の固定

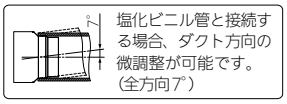
（1）ダクト接続口をダクトに差し込む。
（2）野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮締めする。（「A」印の穴を使用）

先に天井材を張っている場合
ダクト接続部をテーピングしてください。

お願い

- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。
  （無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります）





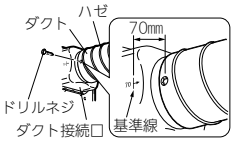
塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向7°）

ネジでダクトを接続する場合

ネジによる接続

（1）図のように矢印から水平に70㎜の位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70㎜の位置にくる場合は、矢印から水平に60㎜の位置に固定する。
- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。

（2）風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



	ダクト呼び径　φ100の場合		
ダクト外径(㎜)	100～105（スパイラルなど）	106～110	114(VP管など)
ネジ　呼び長さ	10	13	16

4 本体の据付け

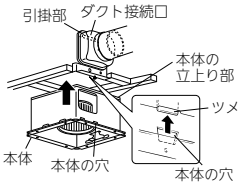
1 本体の差し込み

- 排気口側の本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。

先に天井材を張っている場合
本体の差し込みの前に本体上部のゴムブッシュより電源電線を本体内に引き込んでください。

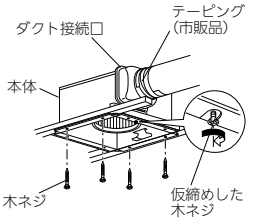
お願い

- **羽根を持って本体の据付けを行わないでください。**
  （本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります）



2 本体の固定

（1）本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ4本で向かい合う2辺の据付穴を使用し本体をすき間のないようにしっかり固定する。
（すき間があると風漏れの原因となります）
（2）ダクト接続口を仮締めしている木ネジ1本を締め付ける。
（3）風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

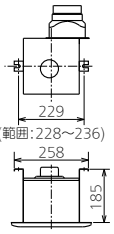


天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して据付ける方法も併用してください。

1 下図の位置（単位（mm））にあらかじめ市販の吊りボルト（M8 または M10）を埋め込む。

天吊金具P-03TK3（別売システム部材）据付位置（2点吊り）

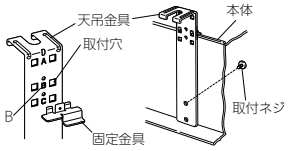


お願い
本体付近に必ず点検口を設けてください。
本体着脱の際、天井をはがさないと据付けられない場合があります。

2 天吊金具（別売システム部材）を本体に固定する。

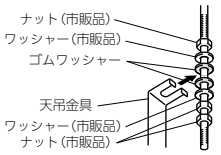
（1）固定金具を天吊金具の取付穴Bに差し込む。

（2）天吊金具を本体に引っ掛けて内側から取付ネジで固定する。



3 本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。



5 電気工事

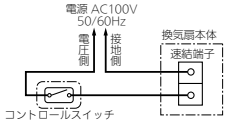
⚠ 警告

- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

お願い
- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターや制御回路が故障します。誤結線によるモーターや制御回路故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認いただき、電圧の確認や電気配線の識別を実施の上、結線してください。
- 結線図の◉部分の接続部は市販のジョイントボックスに収めてください。

■結線図（VD-13ZY14の場合）



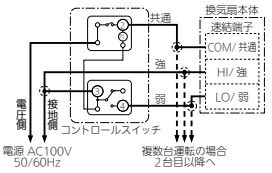
◉適応コントロールスイッチ

コントロールスイッチ	
形名	定格
P-10SW2	4A−AC300V

■結線図（VD-13ZVY7の場合）

DCタイプ専用コントロールスイッチ（P-04SWLV2）を使用する場合

風量2設定切替え仕様
強−弱

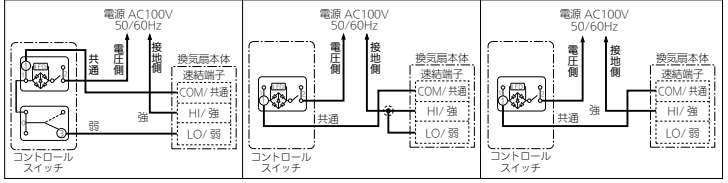


◉適応コントロールスイッチ

コントロールスイッチ	
形名	定格
P-04SWLV2	15A−AC300V

その他のコントロールスイッチを使用する場合

風量2設定切替え仕様	単一風量設定仕様	
（1）強−弱	（2）弱	（3）強



◉適応コントロールスイッチ

風量切替		コントロールスイッチ	
		形名	定格
2設定切替え	（1）強−弱	P-04SWLB5	0.5A AC300V
単一設定	（2）弱	P-11SWL2	
	（3）強	P-11SW2	

- コントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

◉複数台運転について

お願い
- コントロールスイッチ1個で換気扇を複数台運転させる場合、指定台数を超えないでください。換気扇の突入電流によりコントロールスイッチが故障する原因となります。

◉コントロールスイッチ1個での複数台運転の指定台数

コントロールスイッチ			DCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の組合せ	VD-13ZVY7のみの組合せ
仕様／形名		定格		
専用	P-04SWLV2	15A−AC300V	3台	5台
その他	ランプ無し	15A−AC300V	3台	5台
	ランプ付き	0.5A−AC300V	ー（複数台運転不可）	1台（複数台運転不可）

■結線の前の確認

1. 電圧の確認
- 線間電圧が表の電圧であることを確認してください。

DCタイプ専用コントロールスイッチ（P-04SWLV2）、その他のコントロールスイッチ（単一風量設定仕様：弱）の場合

電圧チェック表　線間電圧（V）

スイッチ＼測定部	共通−強	共通−弱
切	0	0
入−強	100	0
入−弱	100	100

その他のコントロールスイッチ（風量2設定切替え仕様）の場合

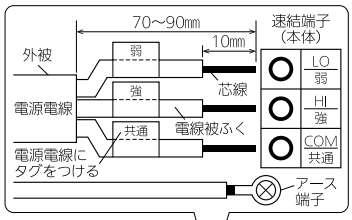
電圧チェック表　線間電圧（V）

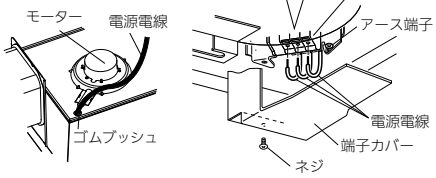
スイッチ＼測定部	共通−強	強−弱
切	0	0
入−強	100	0
入−弱	100	100

2. 電気配線の識別
- 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。

■結線方法

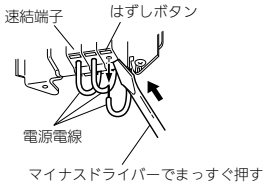
1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
   - 電源電線の外被は70〜90mm皮むきしてください。
   - 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
2. 端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーをあけ、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。
   - 電線被ふくは10mm皮むきしてください。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
   - より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。（導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります）
   - アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm2をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製造(株)製YHT-2210をご使用ください）
3. 端子カバーをネジ1本で固定し元どおり取付ける。





■電源電線の外し方

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずす。

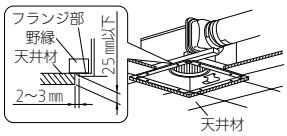


6 天井材を張る

（1）天井材を張る。

（2）本体のフランジ部分と天井材は必ず2〜3mmのすき間があくよう角穴をあける。

お願い
- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

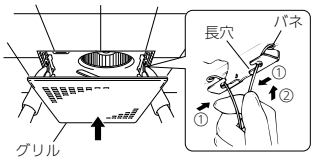


7 グリルの据付け

油煙の発生する場所に据付けた場合
- 油煙の発生する場所に据付けた場合、必ず別売のグリスフィルター「P-13GFZ-M」を据付けてご使用ください。
- グリスフィルターの据付けは、グリスフィルターに付属の取扱説明書を参照してください。

（1）グリルのバネを指先で縮め長穴に差し込む。バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

（2）手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。



5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

《お知らせ》
- 定風量タイプは電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。※運転が安定するまでに数十秒かかります。
- 定風量換気運転中（「弱」運転中）は運転音が変化する場合がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。

お客様への説明　表面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない強/弱のどれかが動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部）※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※5 電気工事 の結線図、電圧チェック表を確認する 特に弱運転をご使用される場合は結線間違いにご注意ください。
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット）	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管）	ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）